

いろは

交流協会日本語センター 1月20日 発行

住址：台北市敦化南路一段245號11樓
TEL:02-2741-2116 FAX:02-2731-1757
E-mail:nihongo@mail.japan-taipei.org.tw
出版者：財団法人交流協會日本語中心
編印：云象商業設計印刷有限公司

創刊号

日本語教育に携わる皆様

—「いろは」創刊によせて—

あけましておめでとうございます。新世紀の幕開けを迎え、皆さまには、それぞれに大きな抱負をもって新年を迎えられたことでしょう。

昨年7月に開設した交流協会日本語センターでも、日本語の教育と普及のため、専門家の先生方が一丸となって様々な企画を練っているところですが、そうした企画の一環として、このたび、日本語センターよりニューズレター「いろは」を発行することといたしました。「いろは」は、台湾における日本語教育に関する情報や動向を紹介しつつ、日本語センターの活動を日本語教育に携わる皆さまにお知らせすることを目的としたものです。交流協会台北事務所においては、こうした機関誌とともに、ホームページ(<http://www.japan-taipei.org.tw>)を通じて、日本語センターを台湾における日本語教育に関する情報交換の場として提供し、その発展に少しでも寄与することが出来ればと考えています。

誌名の「いろは」は「いろは歌」から採ったもので、日本では「物事の初歩」「基礎的なこと」の意味でよく使われます。日本語センターが、台湾の日本語教育関係者に役立つことを願いつつ、交



流協会日本語センター職員一同、一歩ずつ目標に向かって邁進していく所存です。

2000年度、交流協会が行った調査によれば、台湾における日本語学習者数は19万人を超えています。また

同年の日本語能力試験受験者は2万6千人を上回りました。台湾は、日本語学習者の質、量とも世界有数の地域であると言っても過言ではないでしょう。中等教育機関における日本語教育が本格化し、哈日族と呼ばれる日本の文化や風俗に好意を寄せる若者が増えるにつれて、日本語学習者数がさらに増加することでしょう。交流協会にとり、日本語の教育とその普及が重要な任務になっていると考えます。

日本語センターにおける事業も、「いろは」も、これを充実させていくためには皆様のご意見やご要望が、何よりの指針となります。今後ともご協力のほど、何卒宜しくお願いいたします。

新年快樂！迎接新世紀的到來，大家是否對新的一年充滿新的抱負與夢想！

去年7月成立的日本語中心，日語專家的老師們也為了推廣日語教育，正一起努力地擬定各種計劃中，此次由日本語中心發行的「いろは」季刊也為此計劃中之一環。「いろは」是一介紹在台日語教育資訊與動向的刊物，並以介紹本中心的活動給日語教育界的人士為目的。交流協會台北事務所經由發行此季刊，以及網頁(<http://www.japan-taipei.org.tw>)的宣傳，期望日本語中心成為一個提供台灣日語教育資訊交換的場所，並能對日語教育的發展有所貢獻。

刊物的名稱「いろは」是取自於「いろは歌」之中，常用於「萬事的入門」「基礎的事物」的意思上。日本語中心基於此意，一方面期望能對台灣的

日語教育關係者有所助益，一方面與本中心的職員一同朝此目標邁進。

根據2000年度交流協會的調查，台灣的日語學習人數已超過19萬人，同年報考日本語能力試驗的人數也超越2萬6千人，要說台灣的日語學習者的質與量在全世界中是屈指可數的也不為過。隨著中等學校的日語教育步入軌道，以及對日本文化和風俗有好感的哈日族年輕一代的增加，將來日語的學習人數想必會繼續增加！交流協會將擔負起日語教育及推廣的重要任務。

為了使日本語中心的業務及「いろは」更為充實，各位寶貴的意見為我們的今後的指標，請大家多多支持與指教。

交流協會台北事務所 總務部長 山下哲生

台湾における日本語教育の現状(1)

—日本語教育事情調査報告書より—

(財) 交流協会台北事務所

日本語教育専門家 谷口 龍子

1. 台湾の日本語学習者は世界四位

当協会では平成11年より平成12年にかけて、台湾の日本語教育機関を対象とする調査を行った。これにより、台湾において日本語教育を行っている機関数、日本語教師数、学習者数は以下のように確認された。

	(平成11年度)	(平成8年度)
機関数	694 機関	342 機関
教師数	1,713 人	1,198 人
学習者数	192,015 人	161,872 人

*台湾教育部統計処1999年「1998年台湾地区各類短期補習班概況統計調査報告」による短期補習班総機関数254校(1998年)並びに学習者数51,426人(1987年)を含む。

前回の調査が行われた平成8年から3年の間に、機関数は2倍、教師数は1.5倍、学習者数は1.2倍に増加している。

国際交流基金の調査(1998)によると、日本国外の115か国における日本語教育機関数は、10,930機関、教師数は27,611人、学習者数は2,102,103人である。従って世界の日本語学習者の10分の1が台湾に在住していると言えるであろう。表1は国・地域別に学習者数を比較したもので、台湾の学習者数は世界四位である。

国・地域別学習者数 (単位:人) (表1)

国・地域	1998年	1993年
1 韓国	948,104	820,908
2 オーストラリア	307,760	179,241
3 中国	245,863	250,334
4 台湾	192,015	161,872
5 アメリカ	112,977	50,420

資料: 国際交流基金「1998年海外日本語教育機関調査」台湾の資料は、(財) 交流協会(2000)「台湾における日本語教育事情調査報告書(平成11年)」によるもの。

2. 増加する中等教育機関の日本語学習者

今回の調査でもっとも特徴的なことは、中等教育機関における日本語学習者の増加である。日本語教育を行っている機関を、中等教育機関、高等教育機関、学校以外の機関の3種類に分類すると、中等教育の機関数と学校以外の機関数はほぼ同数で、高等教育の機関数が最も少ない。平成8年の調査では、学校以外の機関の数が最も多く、次いで高等教育機関、中等教育機関の順であったのに比べると、中等教育機関の数が大幅に増加したことがわかる。一方、学習者数の面では、前回の調査と同様に依然として高等教育機関が最も多い。

日本語教育機関数、教師数、学習者数 (表2)

	機関数 (機関)	教師数 (人)	学習者数 (人)
中等教育	278	607	56,949
高等教育	128	997	72,395
通信教育	2	109	2,309
学校教育以外*	286	不明	60,362
合計	694	1,713	192,015

*台湾教育部統計処1999年「1998年台湾地区各類短期補習班概況統計調査報告」による短期補習班総機関数254校(1998年)並びに学習者数51,426人(1987年)を含む。

下記の表3は、機関数、教師数、学習者数に関して、今回の調査と前回の調査を比較し、増加率を示したものである。

教育段階別学習者数の変化

中等教育における日本語学習者増加の要因には、当地教育部による第二外国語学習の奨励、高校における日本語学科の増設や日本のマスメディアの影響などが挙げられる。

教育段階別日本語教育機関数、教師数、学習者数の増加率 (表3)

単位(%)

教育段階	機関数			教師数の増加率			学習者数の増加率		
	平成8	平成11	増加率	平成8	平成11	増加率	平成8	平成11	増加率
中等教育	95	278	+192.6	243	607	+149.8	31,917	56,949	+78.4
高等教育	104	128	+23.0	779	997	+28.0	62,238	72,395	+16.3

(財) 交流協会(2000)「台湾における日本語教育事情調査報告書(平成11年)」

日本語センター活動報告

(財) 交流協会日本語センターは2000年7月1日、日本語センターオープニング記念講演を行い、台湾における日本語センターとしての活動を開始しました。これまで約半年間に、以下のとおり、研修会及び講演会を計6回行いました。

○研修会

日本語教育短期集中夏期研修会

(7月5～8日・日本語センター、
9～12日・国立高雄師範大学)

テーマ：「教室活動」

講師：姫野昌子 東京外国語大学教授
聖田京子 ハワイ大学教授
古川ちかし 台湾東海大学助教授

日本語教育特別研修会Ⅰ

(8月25日・日本語センター)

テーマ：「音声教育の最新動向と指導の実施」

講師：土岐哲 大阪大学大学院教授

日本語教育特別研修会Ⅱ

(9月3日・日本語センター)

テーマ：「視聴覚教材の利用法」

講師：吉岡英幸 早稲田大学教授



○講演会



日本語教育特別講演会Ⅰ

(10月1日・日本語センター)

テーマ：「茶道の歴史と実演」

講師：山本宗敬 裏千家教授

日本語教育特別講演会Ⅱ

(12月10日・日本語センター)

テーマ：「表意文字と表音文字：歴史の分岐点」

講師：中山茂 神奈川大学教授

日本語教育特別講演会Ⅲ

(12月10日・日本語センター)

テーマ：「21世紀における外国語学習の基準—
早期バイリンガル教育のすすめ—」

講師：奥田邦男 広島大学名誉教授

テーマ：「マルチメディア教室での外国語の授業」

講師：奥田久子 広島修道大学教授

今後も台湾における日本語教育に貢献できるような企画運営を行い、また、研修会・講演会に参加できなかった皆様にも、本誌を通じて活動内容を紹介できるよう努めたいと考えております。日本語センターの活動に関するご意見ご要望などお寄せください。

日本語中心活動報告

財団法人交流協会日本語中心於2000年7月1日舉辦日本語中心成立紀念演講會，展開了在台第一次活動。往後約半年間如上所示，一共舉辦了六次研習會和演講會。

今後本中心繼續致力於台灣之日語教育，並透過本報介紹各活動內容給未能參加研習會和演講會的各位，如對本中心的活動有任何的意見或期望，請多多指教。

台湾南部の日本語教育事情

(財) 交流協会高雄事務所発

台湾南部日本語教師会

台湾南部の日本語教育は、より実務的な「応用日本語」の教育が求められ、その目的も多岐に亘っている。しかし、現段階では、それぞれの教育機関は依然として模索期にあり、カリキュラムなども確立されてはいないといった状況にある。そのような問題を解決するためにも、今後の南部日本語教育の中心的役割を果たすのが「台湾南部日本語教師会」（以後「南部教師会」と称す）であろう。そこで、今回は南部教師会の会長である黃英甫先生にお話を伺った。

南部教師会の活動の目的は何ですか。

南部教師会は、台北にある日本語教育学会が学術的研究を中心としているのとは異なり、教師が日本語教育の現場での問題を互いに分かち合ったり、情報交換をしたりすることを目的に発足しました。

南部教師会はどのような経緯で設立されたのですか。

私と、かつて交流協会高雄事務所の日本語教育専門家でいらした岡本輝彦先生（現在、南台科技大学講師）との間で、台湾南部には日本語教師の繋がり、及び日本語教育の質的向上が必要だとの意見が一致したことをきっかけに、予備会を行い各学校の先生方の意見を聞いた上で、凡人社の田中社長をはじめ日本の多くの方々へ支援をいただき、1993年に設立しました。

今までどのような活動をしてこられましたか。

例会は3ヶ月に1回行っていますが、会員の居住地は雲林から屏東までと広範囲に亘っているため、台南及び高雄で行っています。例会は主に日本及び台北から日本語教育の専門家を招いて、講演会や実践報告会、教師の勉強会等を行ってきました。例会後は教師の親睦を図るために懇親会も行っています。

例会も30回を数えますが、これまでどのようなことに苦労されましたか。

やはり会員を増やすことが一番大変ですね。ま

南台湾之日本語教師會

南台湾の日本語教育、偏向於較實務性之「應用日本語」，其層面也十分廣泛。但是，於現階段中，各個教育機關依然處於摸索期，課程等也尚未明確確立。為了解決這些問題，「台灣南部日本語教師會」（以下簡稱南部教師會）今後將擔負起南部日語教育之主導角色。因此，我們訪問了南部教師會會長黃英甫先生。

南部教師會之活動的目的為何？

南部教師會，與以學術研究為中心之台北日語教育學會不同，是讓教師們相互討論教學上所遇到的問題，與經驗交流為其目的。

南部教師會成立之原委為何？

本人，與曾經任職於交流協會高雄事務所之日語教育專家，岡本輝彦先生（現任南台科技大學講師）一致認為，有必要促進南台灣日語教師之間的連繫，與提升日語教育品質，所以，以此想法為出發點，除了參考教師們的意見外，也得到凡人社的田中社長等許多日本朋友的協助，於1993年成立。

至今舉辦過那些活動？

例會每三個月舉辦一次。由於會員居住的地區，從雲林到屏東，非常廣泛。所以，例會皆於台南或高雄舉行。例會之主要內容，為從日本或是台北邀請日語教育專家，舉行演講、實踐報告會等，或是教師的讀書會。於例會後也舉行聯誼會，促進老師們之間的交流。

例會至今已經舉辦了三十次，有沒有覺得辛苦的地方？

招募新會員的工作是最辛苦的了。此外，每次的例會都有主題，但是要於台北或日本邀請那位專家，及例會主題的決定等，都是令人頭痛的問題。

今後南部教師會發展的方向為何？

到目前為止，台灣的日語教育都是以台北為中心。可是，近年來由於南部許多學校設置了應用日語學科，所以其重心，已經漸漸從北部轉移到南部了。在此情況下，提升南部日語教育之品質成為最重要的事情。南部教師會為肩負起主導之責任，除

た、毎回テーマを決めて行っていますが、日本または台北から日本語教育の専門家を招く場合、誰にするか、そしてテーマは何にするか、頭を痛めています。

今後、南部教師会をどのような会にしていきたいとお考えですか。

台湾の日本語教育と言うと、これまで台北を中心に考えられてきた観があります。しかし、近年台湾の日本語教育は南部に多くの応用日本語学科が創設されたことにより、その中心は北部から南部にシフトしてきています。このような状況において南部における日本語教育の質的向上が最も必要となってくるでしょう。そして、南部教師会は南部の日本語教育の拠点としての役割が果たせるように会員を増やし、日本語教育の専門家による講演会、台湾南部についての日本語教育国際シンポジウムの開催、日本語教師養成講座の開講等を行い、また、教授法等の日本語教育論文集も出版したいと考えています。これらの件については、今後、台湾南部の日本語の先生方からご意見を伺い、それをもとに企画して行くつもりです。また、それにはやはり日本側から、特に財団法人交流協会からのご支援が必要となります。

南部の日本語の先生方へのメッセージはありますか。

台湾南部の日本語教育の発展、及び教師自身の自己研鑽の場として、是非この会を役立てていただきたいと思っています。

台湾の日本語教育関係者の方々に何かお伝えになりたいことはありますか。

私は常々「日本語教育の台湾本土化」が必要ではないかと思っています。つまり台湾の文化的背景、学習者の意識等に注意を向けながら日本語教育を行っていかねばならないということです。そして、教師は日本語を押しつけるのではなく、学習者が何を学びたいかをよく調べた上で教えていくべきでしょう。また、日本人教師も含め、日本語教師は、台湾の歴史的背景や社会環境、日本語と台湾語との語学的関係（音韻・文法・語彙）等も理解した上で、日本語を教えていって欲しいと思っています。

積極進行會員の増加、舉行日語教育專家的演講會、於南台灣舉辦日語教育國際研討會、及日語教師養成講座之開講之外，也考慮出版教授法等日語教育論文集。今後，將以南台灣的日語教師之意見為本會發展之方針。此外，也希望日本方面，由其是財團法人交流協會對本會提供協助。

對於南部之日語教師有沒有什麼話要說？

誠心期望，本會能對南台灣日語教語之發展，及教師本身之進修有所助益。

對於台灣日語教育關係者們有沒有想傳遞的訊息？

本人常常覺得「日語教育之本土化」是必要的。也就是說在教導日語的同時，必需要配合台灣文化背景，及兼顧學習者的意願。此外，並不是教師單方面的進行教學，而是要了解學生的想學為何後，再因材施教。同時，也希望日籍教師於教日語之時，也要了解台灣的歷史背景及社會環境及日語與台語，如音韻、文化、語彙等語學關係。

黃英甫會長略歷

- 1961年 國立成功大學外國語文學系卒業
- 1962年 同大學に助手として勤務する
- 1966年 専任講師となり日本語教育に携わる
- 1971年 國際基督教大學大学院修士課程に入学
- 1973年 同大學修士課程を修了（教育学修士）
- 1974年 國立成功大學外國語文學系副教授として勤務し、現在に至る
- 1995年 財團法人交流協會のフェロースhipで1年間大阪大學にて研究を行う



財団法人交流協会 奨学金留学生試験

10月7日(土)、交流協会奨学金留学生試験が、台北事務所で行われた。当協会は、日本の国立の大学院進学希望者を対象に、原則2年間、奨学金を支給している。当日は、教育部実施の一次試験に合格した144名が、小論文、面接試験に臨んだ。各分野の専門家は、事前に学生が提出した「研究計画書」とあわせて審査し、11月10日(金)に、100名の合格者を発表した。

財団法人交流協会奨学金

10月7日(六)、於台北事務所舉行交流協會留學生考試。交流協會以希望進入日本國立大學研究所就讀之學生為對象，原則上提供兩年的獎學金。當日，通過教育部舉行第一次考試的144名考生，進行作文及面試的複試。各項專門的面試老師，配合應試者事前所提出的「研究計劃書」加以審察後，於11月10日(星期五)發表100名的合格者。

中華民國日本語文学会

11月18日(土)、19日(日)、中華民國日本語文学会主催(財)交流協会後援の特別講演会が、日本から窪田富男教授(大東文化大)、J.V.ネウストブニー教授(桜美林大)、尾崎明人教授(名古屋大)を迎え、YMCA城内会所で行われた。当学会は、毎月例会を開いており、日本語教育・教授法等の発表が活発に行われ、日本語教師を目指す若い人の参加も多い。

中華民國日本語文學會

11月18日(五)、19日(六)由中華民國日本語文學會主辦，(財)交流協會協辦的特別演講會，於YMCA城内會所舉行。由窪田富男教授(東大文化大)、Jiří Václav Neustupný教授(櫻美林大)、尾崎明人教授(名古屋大)等教授主講。中華民國日本語文學會，每月有定期的例會，關於日語教育・教授法等之發表相當踴躍，也有不少以當日語教師為目標的年青學子參加。

日本語教育国際シンポジウム

12月16日(土)、東呉大学日本語文学系主催、教育部、行政院国家科学委员会、外交部、(財)交流協会後援による「日語教学国際会議—新世紀之日語教学研究」が東呉大学にて行われた。台湾のみならず韓国及び日本で日本語教育に携わる32組(延べ33名)の講演・発表が行われ、三ヶ所設けられた会場は、いずれも立ち見ができるほどの盛況であった。

日語教學國際會議

12月16日(六)由東呉大學主辦，教育部、行政院國家科學委員會、外交部、財團法人交流協會協辦之「日語教學國際會議—新世紀之日語教學研究」，於東呉大學展開。除了台灣，還有韓國及日本的日語教育者共32組(33人)進行了演講與發表，3個會場都出現了座無虛席的盛況。

台湾日本語教育学会

12月23日(土)、台湾日本語教育学会・台湾大学日文系主催(交流協会後援)の「追求卓越的日本研究」国際会議が、台湾大学応用力学館で開催された。会議では、日本語教育学会会長の水谷修氏をはじめとする日本、アメリカから招待された7名の学者が、日本語教育、日本文学に関する講演を行ったほか、台湾で活躍する教師たちの発表も行われた。

台灣日本語教育學會

12月23日(六)由台灣日本語教育學會・臺灣大學日文系主辦(交流協會協辦)之「追求卓越的日本研究」國際會議，在臺灣大學應用力學館舉行，由日本語教育學會會長水谷修教授開始的日本及美國七位學者發表有關日本語教育、日本文學的演講，此外活躍於台灣的教師們也發表了演講。

日本語能力試験

12月3日(日)、交流協会主催、語言訓練測驗中心共催「2000年日本語能力試験」が台北市および高雄市の複数の会場で行われた。日本語熟の高まりを背景に、受験申込者数は昨年を約20%上回る26,277人に達し、三年前の約二倍となっている。

級別	台北			高雄			総計		
	1999	2000	成長率	1999	2000	成長率	1999	2000	成長率
一	2,710	3,256	20%	584	763	31%	3,294	4,019	22%
二	3,604	4,229	17%	1,116	1,308	17%	4,720	5,537	17%
三	4,780	5,600	17%	1,858	2,213	19%	6,638	7,813	18%
四	5,253	6,427	22%	2,247	2,481	10%	7,500	8,908	19%
総計	16,347	19,512	19%	5,805	6,765	17%	22,152	26,277	19%

(語言訓練測驗中心報告)

全国日本語弁論大会

12月8日(金)、台湾大学応用力学館において、教育部ならびに(財)交流協会・語言訓練測驗中心共催による「八十九学年度全国大專院校日語演講決賽(全国高等教育機関日本語弁論大会)」が実施され、主修日文組(日本語主専攻の学生)23名、非主修日文組(日本語主専攻以外の学生)33名の計56名が参加した。主修日文組については自作と即興の二つのスピーチをもとに、非主修日文組については自作スピーチと質疑応答をもとに審査が行われた。内容、表現力とも昨年同様非常にレベルの高いコンテストとなった。

全国日語辯論大賽

由教育部、(財)交流協会、語言訓練測驗中心共同舉辦之「八十九學年度全國大專院校日語演講決賽」,12月8日(五),於台灣大學應用力學館舉行。主修日文組23名,及非日文組33名,共56名參賽者。主修日文組之題目分為自選題及抽選題兩種,非主修日文組方面則為自選題及即席問答。參賽者之演講內容,及表現能力與去年相同,都有高水準的表現。

八十九學年度全國大專院校日語演講決賽

主修日文組優勝名單			非主修日文組優勝名單		
名次	學校	姓名	名次	學校	姓名
1	高苑技術學院	黃惠瑋	1	台灣大學	陳怡珍
2	銘傳大學	葉玉茹	2	銘傳大學	吳姿瑩
3	政治大學	張孝先	3	清華大學	楊惠婷
4	高雄第一科技大學	廖娟慧	4	長榮管理學院	董建融
5	中國文化大學	韓佩伶	5	政治大學	陳靜琪

第17回アジア航空杯日本語弁論大会

12月17日(日)、台北市来来大飯店において、日本アジア航空株式会社、日華青少年交流協会主

催、交流協会協賛による第17回アジア航空杯日本語弁論大会が実施され、台湾北部地区の大学、技術学院から計17名が参加した。厳しい予選を通過した参加者だけに、内容的にも聞き応えのあ

アジア航空スピーチコンテスト

名次	姓名	學校
1	周莉惠	銘傳大學
2	許信恆	淡江大學
3	孫慈徽	文化大學
4	胡琮憲	政治大學
5	許晴舒	台灣大學
6	黃裕仁	政治大學
努力賞	葉亞婷	政治大學
特別賞	林孟君	真理大學

るスピーチが多く、質の高いコンテストとなった。

第十七回亞細亞航空盃日語辯論大賽

12月17日(日)、由日本亞細亞航空公司、日華青少年交流協會主辦，交流協會協辦之第十七回亞細亞航空盃日語辯論大賽，於來來大飯店舉行。共有來自台灣北部各大學及技術學院的十七名學生參加。由於參賽者皆為通過嚴格初賽之佼佼者，所以其演講內容，相當豐富精彩，是一場高水準的辯論比賽。

(財) 交流協会日本語センター・台湾日本語教育関連情報

日本語教育冬期集中研修会

重松淳(慶應義塾大学助教)、王仲子(専修大学教授)両先生を講師としてお招きし、「中国語母語話者に対する日本語の発音指導と矯正」をテーマとした研修会が以下の要領で行われます。

2月4日(日)、5日(月)

会場=日本語センター(台北)

2月7日(水)、8日(木)

会場=国立高雄師範大学(高雄)

参加者募集はすでに締め切られました。今後の日本語センター主催行事についてのお問い合わせは日本語センター事務局までご連絡ください。

TEL 02-2741-2116

FAX 02-2731-1757

日本語センター

ホームページ開設

(財)交流協会台北事務所のホームページ内に日本語センターのページを開設いたしました。台湾の日本語教育に携わる方々に役立つHPにしていきたいと思っております。皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

<http://www.japan-taipei.org.tw>

内容：当センター事業案内・日本語教育事情調査・学会情報・リンク集

第二回全国高中高職

日語演講比賽

2月24日(土)、東呉大学外雙溪校区傳賢堂において、東呉大学主催、明海大学(日本)・朝日大学(日本)共催、交流協会後援による「第二回 高校生、高等職業学校生スピーチコンテスト」が行われます。午後1時開幕、観覧自由。コンテストの他に日本の歌も披露される予定です。お問い合わせは東呉大学日本語文学学系黄助教(02)2881-9471 ex.6524

情報をお寄せください

このページに掲載する、台湾の日本語教育に関する催しなどの情報を募集しております。また、本誌「いろは」に対するご意見やご要望もお待ちしております。詳細につきましては日本語センター事務局までお問い合わせください。

TEL 02-2741-2116

FAX 02-2731-1757

「いろは」創刊号 目次

「いろは」創刊によせて・・・・・・1

日本語教育事情調査報告・・・・・・2

日本語センター活動報告・・・・・・3

台湾南部の日本語教育情報・・・4, 5

台湾 日本語教育ニュース・・・6, 7, 8

台湾 日本語教育関連情報・・・・・・8